

歯と口の健康週間 県民公開講座

テーマ「糖尿病と歯周病の関係について」

■講師：

前橋赤十字病院 病院長補佐兼
糖尿病内分泌内科部長
上原 豊 先生



■専門分野：

糖尿病・内分泌代謝・肥満

■抄録

糖尿病と歯周病の関連について

糖尿病と歯周病は一見異なる疾患のようですが、実は両者には密接な関係があります。糖尿病はインスリンというホルモンの作用不足によって引き起こされる高血糖状態の代謝性疾患です。高血糖が持続すると腎臓、神経、目、心臓、脳など全身に合併症を引き起こします。また、歯周病は、歯茎や周囲の組織に炎症を引き起こす口腔疾患であり、歯の喪失を生じ、歯や口腔の健康のみならず全身の健康にも悪影響を及ぼします。

両疾患の関係ですが、糖尿病患者さんは歯周病になりやすく、歯周病が悪化するリスクも高くなることが知られています。歯周病が進行すると、歯を支える骨が減少し歯を喪失します。糖尿病患者さんは、免疫系が弱くなるため歯周病の治療がより困難になってきます。その結果、残りの歯が減ってくると死亡率も高くなってきます。また歯周病があると、糖尿病の発症リスクが増加し、歯周病の重症度が高いと糖尿病コントロールが困難になってきます。このように糖尿病と歯周病には密接な関係があります。従って、糖尿病患者さんは、普段の診療とともに、定期的な口腔ケアと歯科医師の定期的な検診が欠かせません。また、糖尿病がなくても歯周病の早期発見、早期治療が重要となりますので、定期的な歯科受診が必要となります。

本講演では、糖尿病や歯周病がどういう病気か、そして両疾患の関連性について解説します。そしていつまでも健康でいられるように、日常生活でどのような点に注意してケアするかを述べさせていただきます。本日の講演が皆様の健康長寿にお役に立てればと思っています。

■講師資格等：

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内科学会総合内科専門医

日本内科学会指導医

日本糖尿病学会専門医

日本糖尿病学会研修指導医

日本肥満学会肥満症専門医

日本肥満学会肥満症指導医

人間ドック学会健診認定医・専門医・指導医

臨床研修指導医

日本肥満学会評議員

日本内分泌学会代議員

群馬県糖尿病対策推進協議会委員

群馬県糖尿病対策推進会議委員

群馬県療養指導認定機構委員

元日本糖尿病学会関東甲信越支部認定委員